

## 1時間目 「子どもの権利」について知る

ねらい 学級の生活で、守られていると思う権利や守られていないと思う権利について話し合うことを通して、子どもの権利について知る。



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session1/>

展開プラン

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
10分	<p><b>子どもの権利について知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権」や「権利」という言葉から思いつくことを考える。 (例) 平等・大切なこと・生命…</li> <li>「子どもの権利」として必要なことを考える。 (例) 食べ物・お金・病院・愛・友だち・先生…</li> <li>「子どもの権利条約」について知る。</li> </ul> <p><b>知識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生きていくために必要な衣食住、学ぶことや遊ぶこと、意見や思いを聞いてもらえることなど、自分らしく生きるために大切なことがいろいろある。</li> <li>子どもたちが人間らしく、幸せに生きられ、健やかに成長していくために必要なものやことを「子どもの権利」という。</li> <li>それらは「子どもの権利条約」という国際的な約束で、守られるべきものとして決められている。</li> </ul> <p>一人ひとりがもっている権利であることを知る。</p> <p><b>知識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本もこの条約に1994年に入った(守ることを約束した)。</li> <li>条約に書かれている権利は、一人ひとりが生まれながらにもっている大切なもので、誰も奪い取ることはできない。条件付きで与えられるものでもない。</li> </ul>	<p>◎用意するもの：「子どもの権利条約」条文カード(黒板掲示用・児童生徒の手元用)／画用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの意見を聞いた後、「人権」について説明する。</li> <li>自分たちが元気に育つために必要なことが「子どもの権利」で、大切な人権であることを伝える。</li> <li>動画視聴 ▶「ジーン&amp;ケーン学んでみよう！子どもの権利」 <a href="https://vimeo.com/995222999">https://vimeo.com/995222999</a></li> </ul> <p><b>ヒント</b></p> <p>すべての条文について学ぶのが難しければ、学校生活と関係の深い条文をあらかじめ選んでおいてもよい。</p> <p><b>留意点</b></p> <p>学級のことを越えて話し合ってもよいが、その場合、自分の経験を告白するような場面が出てくる可能性もある。無理に話さなくてもよいことを伝え、子どもたちのプライバシーに配慮する。</p>

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
30分 (35分)	<p><b>学級の生活で守られていると思う権利と守られていないと思う権利について話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもの権利条約」の条文カードまたは一覧表を見ながら、条約にはどんなことが書いてあるか、それぞれ読んでみる。</li> <li>大切だと思う権利を話し合って見つけ、学級で共有する。 (例) 6条：生きる権利・育つ権利 31条：休み・遊ぶ権利 2条：差別の禁止 28条：教育を受ける権利…</li> <li>学級の生活の中で守られていると思う権利と、守られていないと思う権利、またその理由を考え、画用紙にまとめる。 (例) 言いたいことはきちんと言うことができる。 人と違う意見を言っても差別されない。 騒がしいと勉強ができない。 友だちに合わせて意見を言えないことがある。 暴力をふるう人がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒に「子どもの権利条約」の条文カードまたは一覧表を配布。</li> <li>可能であればA4判に印刷した条文カードを掲示。</li> </ul> <p><b>ヒント</b></p> <p>すべての条文について学ぶのが難しければ、学校生活と関係の深い条文をあらかじめ選んでおいてもよい。</p> <p>話し合いのためのグループ(2～4人)を示す。</p> <p>話し合いが進んでいないグループにはサポートに入る。</p> <p>グループ毎に発表させる。(画用紙を掲示する。)</p> <p><b>留意点</b></p> <p>学級のことを越えて話し合ってもよいが、その場合、自分の経験を告白するような場面が出てくる可能性もある。無理に話さなくてもよいことを伝え、子どもたちのプライバシーに配慮する。</p>

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
5分	<p><b>学習をふりかえる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想カードを配布する。</li> </ul> <p><b>ヒント</b></p> <p>自分が子どもの権利をもつ存在と気づいてどう感じるか、級友も同じ権利をもつと知ってどう感じたか、などのことを、あらためてしっかりふりかえっておくことも大切。</p>

## 2時間目 学級目標に取り上げたい大切な権利を選ぶ

ねらい 自分たちの目指す学級像を描きながら、学級目標に取り上げたいと思う「子どもの権利条約」の条文を選ぶ。



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session2/>

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
10分	<p><b>前時の学習をふりかえり、本時のめあてを確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級目標に使う視点から条文を読む。</li> <li>学級目標に使う理由を考える。</li> </ul>	<p>◎用意するもの：選んだ条文のカード／画用紙または模造紙／色ペン／のり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前回の画用紙を掲示し、ふりかえる。</li> <li>A4判の条文カードを黒板に掲示し、前時に取り上げた条文を確認する。</li> <li>意見を板書する。</li> </ul>
30分 (35分)	<p><b>学級目標に使う「子どもの権利条約」の条文を選ぶ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで日々の学級の生活をふりかえりながら、目指したいクラス像を描き、学級目標に取り上げたい条文を選ぶ。</li> <li>取り上げたい理由を考える。</li> <li>選んだ権利を守るにはどうしたらよいかを考える。</li> <li>グループごとに話し合いの内容をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>条文カードと画用紙(模造紙)や色ペンを、グループに配る。</li> <li>◎教材：子どもの権利条約カードブック</li> <li>具体的な場面と結びつけて考えさせる。</li> <li>話し合ったことを、画用紙(模造紙)にまとめさせる。</li> </ul> <p><b>留意点</b> 子どもたちが主体的に話し合うことが大切。それぞれのグループのペースや進め方を尊重しながら、必要に応じて話し合いをサポートする。</p>
5分	<p><b>学習をふりかえる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想カードを配布する。</li> </ul>

## 3時間目 「子どもの権利」の学びを生かした学級目標を書く

ねらい これまでの学習と話し合いをもとに、「子どもの権利条約」の条文をふりかえりながら、学級目標の言葉を考えて書く。



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/session3/>

時間	主な学習活動と内容	支援や留意点など
5分	<p><b>前時の学習をふりかえり、本時のめあてを確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級目標づくりに選んだ条文を学級で確認する。</li> </ul>	<p>◎用意するもの：選んだ条文のカード／話し合いをまとめた画用紙または模造紙</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級目標づくりに選んだ条文カードを黒板に掲示しておく。</li> </ul>
25分	<p><b>グループごとに発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとの話し合いから、条文を選んだ理由やその権利を守る方法を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の内容から、要点を板書する。</li> <li>発表が終わったグループの画用紙(模造紙)を掲示しておく。</li> </ul>
15分 (20分)	<p><b>学級目標を書く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全員での話し合いを通して、黒板に書き出された言葉の中から、学級目標に入れる文言をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの主体的な話し合いを尊重しつつ、限られた時間でさまざまな意見を学級目標としてまとめるためのサポートをする。</li> </ul> <p><b>応用</b> 小学校高学年～中学校では、先生のサポートのもと、進行役の児童生徒が話し合いを進めてよい。</p> <p><b>留意点</b> 「子どもの権利条約」をふりかえりながら、選んだ条文に沿うかたちで学級目標を考える。</p>

## 4時間目 学級目標を模造紙に描き掲示する

ねらい 学級で工夫して学級目標を模造紙に描く。年間を通じて掲示し、折に触れて意識させる。

※4時間目の授業プランは省略しています。  
※朝の会や帰りの会などを利用して、定期的に学級目標をふりかえることが大切です。



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/cre/action/classcharter-hoya/output/>